

員ハ其後二千四百七十八名ニ増加シ依然工場内中食堂
ニ籠城シ、或ハ工場毎ニ傳令係ヲ作り各工場間ノ連絡
ニ任ジ、或ハ保安係ヲ選任シテ工場側ノ切崩ニ對抗シ
臨取ノ維持ニ努メタリ。

十四日罷業團員三沢某ハ交渉委員ニ對シ日本正義團
ニ請停ヲ依頼シテハ如何ト申込ミタルニ、交渉委員ハ
一應之ヲ拒絶シタルニ再度同人ノ交渉ヲ受ケ在請停方
依頼ヲ承認シ、前記三沢ハ第五工場職工某ト共ニ直ニ
大攻ニ至リ正義團ニ請停ヲ依頼シ其ノ快諾ヲ得タリ。

一方交渉委員ハ右事情ヲ河上大太郎、坂本孝三郎等

ニ報告シタルニ、其ノ方策ノ誤レルヲ指摘セラレ十五
日交渉委員會ヲ開キ協議ノ結果正義團ニ對シ請停方拒
絶ヲ傳達セリ。會社側ニ於テハ従来採用シ来レル偽電

報、偽手紙及父兄呼出等ノ手段ハ罷業團員及父兄等ニ

工場側ノ切崩策ナルコトヲ察知セラレ、其ノ後ハ個々

ノ面接説得ニ依リ切崩ニ努メタルニ依然效果ノ見ルベ

ク又ノナシ。工場長ハ秘密裡ニ職工側交渉委員ト會見

シ今田ノ職給ニヨリ困窮ノモノニハ不足額ヲ補助スル